

AdBlue® Schatz NEWS

AdBlue®はドイツ自動車工業会(VDA)の登録商標です。Registered trademark of the Verband der Automobilindustrie e.V.(VDA)

Schatz inc 仙台工場のご紹介

Schatz inc仙台工場は3年前にVDA監査を受けてAdBlue®の認証を受けております。

現在の製造量は50万ℓ/月となり、北東北3県と宮城・福島をカバーする工場です。

給液車両は8台体制で給液にお伺いさせて頂いております。

安全・安定・安価の3Aをスローガンにユーザーに選ばれ続けるメーカーであるようAdBlue®アドバイザーが製造・給液を実施し、お客様に設置されているタンクの状況もきちんと管理しているAdBlue®メーカーを目指しております。

お客様の車両故障ゼロを目指して日々邁進しております。

AdBlue®でお困りの際は何なりとご相談下さいます様、

宜しく願い申し上げます。



【尿素市況】11月輸入尿素価格は続落、対ドル円相場の反発で

輸入尿素価格は前月から続落した。リム情報開発の調べでは、円建て日本着価格は11月18日時点でトンあたり86,000円台前半と、10月21日時点と比べ9,000円程度下がった。ドル円相場が大きく円高方向に振れたことで円建て価格が押し下げられた。

また、中国積み(FOB)価格が下がったことも影響した。中国政府が23年1月以降、尿素の禁輸に踏み切る可能性があるとの見方から在庫を早めに処分しようとする動きが出たという。

このところの天然ガス価格の下落を受け、止めていたアンモニアプラントの稼働を再開する動きが広がったことも下押し要因となった。

一方、日本国内に目を転じると、三井化学が12月から国内の尿素販売価格をトンあたり20,000円引き上げると通知した。日本の尿素市況の上昇期待から、中国メーカーが日本向け輸出価格を維持しようとしているとの指摘も出た。(リム情報開発の週刊『クリーンエネルギー』記事を編集加工)



IBCタンクのお役立ち情報

AdBlue®が入っている写真の容器ですが、「IBCタンク」又は「IBCコンテナ」と呼ばれていますが、今回はこのタンクに関してのお役立ち情報をお届けします。

IBCコンテナはIntermediate Bulk Containersの意味しており、容量は約1000L。AdBlue®で使用されるIBCコンテナの材質は耐食性のあるポリエチレンが主流です。

外枠は垂鉛メッキの鉄角パイプです。少し錆びただけでは特に問題はありませんが、パイプが折れたりすると危険ですので、注意が必要です。

IBCコンテナには液を入れる充填口(天面に付いているキャップ)、液を排出する排出口が付いています。AdBlue®で使用されるお客様には充填口はエア抜きが付き、排出口には自重落下ホースが付き、そこから液を給水する仕組みとなっています。AdBlue®にIBCコンテナが採用された経緯としては、まず重量が軽く、扱いが楽(リフト想定形状)です。また、容器内底面には排出バルブに向かって傾斜があり、排出時の液残りが最小限になるよう設計されています。

IBCコンテナは昨今のAdBlue®需要増加に伴い、不足しがちですが、Schatzグループでは常に十分な数のコンテナを確保していますので、ご安心ください。(AdBlue®周辺機器メーカー：株式会社エイチツー情報提供)

